

「食品の安全性に係る意見交換会」
～安全な食品ができるまで（施設見学含む）～

議事録

日時：平成22年8月23日（月）13：00～16：20

場所：株式会社ロッテ浦和工場

（司会：小島）

それでは、1時になりましたので、「食品の安全性に係る意見交換会」～安全な食品ができるまで～を開催いたします。はじめに関東信越厚生局健康福祉部朝浦部長より開会の挨拶を申し上げます。

（関東信越厚生局：朝浦部長）

皆さん、こんにちは。暑い中、本当にご苦労様です。

本日は、「食品の安全性に係る意見交換会」ということで、ご参加いただき、ありがとうございます。

私は、すでに紹介頂きましたけれども、さいたま市にあります、関東信越厚生局健康福祉部の朝浦と申します。

まずは、お子さん方にお話しを申し上げたいと思います。

皆さんは、普段から、ご飯やパン、ハンバーグなどのおかず、デザートなど、毎日いろいろな食べ物を食べていると思います。

食べ物は私たちが健康に生きていくために必要なものですが、もし、安全ではない食べ物、例えば、たくさんのばい菌が付いた食べ物を食べてしまうと、おなかが痛くなったり下痢をしたりしてしまいます。ですから、食べ物が安全であることはとても大切なことです。

今日は、食べ物がどのようにして安全につくられて、皆さんのところに届けられているかということについて、アイスクリームの工場を見学して、勉強をしてもらいたいと思います。

また、さいたま市保健所の方たちと一緒に、食べ物が安全につくられているかどうかをチェックする人の仕事を体験していただきたいと思います。

この会をきっかけにして、食べ物の安全について、親御さんと一緒になって考えてみて下さい。

今日は一日、元気に、楽しく勉強していきましょう。

続いて、本日ご参加の保護者の皆様にお話しをさせていただきます。

私どもの関東信越厚生局では、国民の方々にとって身近な、医療、健康、福祉、麻薬取締りなど、各種の施策や業務を、皆様方の身近な地域で実施する「政策実施機関」で

ございます。全国に7つの厚生局がありますけれども、関東信越厚生局は1都9県を所管しておりまして、さいたま市に事務所がございます。

今回は、厚生局の業務の中でも、特に、皆様方に身近な食品について、食べたり飲んだりすることによって健康を損なう可能性を、どのようにしたら低くすることができるのか、ということについて、お子様方と一緒に勉強していただくため、株式会社ロッテ浦和工場さんと、地元さいたま市のご協力により、企画させていただきました。

食品の安全については、中国産ギョウザや農薬問題など様々なニュースがございますけれども、日頃から、口にするものが安全なものなのか、皆様もいろいろと気を遣われていることと思います。

そこで、今日はロッテ浦和工場さんを見学致しまして、実際の食品製造現場を見ていただきながら、食品工場で行われている安全への取り組みについて、お子様方と一緒に、実際に目で確かめていただき、理解したこと、疑問に思ったこととお話ししていただきたいと思います。

このように、私ども「行政」と、「消費者」である皆様方と、食品の提供者である「事業者」の方が、直接顔を合わせ、様々な意見を出し合い、食品の安全に対するお互いの理解を深めることにより、我が国の食品の安全を守るための取り組みをよりよい方向にしていきたいと考えております。

是非、今日一日、楽しみながら、食品の安全に関する取り組みを体験していただきたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

(司会：小島)

ありがとうございました。

続きまして、株式会社ロッテ浦和工場の鶴見工場長よりご挨拶を頂きます。

(株式会社ロッテ浦和工場：鶴見工場長)

皆さんこんにちは。

みなさんは食品を作っている工場をご覧になるのは初めてかと思いますが、今日は午後いっぱい楽しい時間を過ごして頂きたいと思います。最初に浦和工場がどんなところなのか概要についてお話致します。この工場は1964年、今から46年前にチョコレートを作る工場としてできました。そして、1971年、39年前、アイスクリームを作るといって新しく工場を造りました。今は、チョコレートとアイスクリームの2つの商品を作っております。今日はアイスクリーム工場をご覧頂きますけれども、この工場は従業員が約700名いまして、3直と言って、班を3つに分けて、早番、遅番、夜勤ということで、24時間機械は止まらずに、従業員は3交代で商品を作っています。今日は、おそらく8品種ほどアイスクリームを作っていると思います。そのような工場です。

私は、この工場を運営するにあたって、3つのスローガンを掲げています。1つは「挨拶」。挨拶と言っても非常に当たり前のことですが、今日見て頂く、「爽」、「クーリッシュ」のラインでは人が8人、9人組になって商品を作っております。この人たちがコミュニケーションをとって、お互いの情報をやりとりすることで、いい商品を作り上げる、そのためのきっかけというのが挨拶、ということで挨拶を掲げています。2つ目は「アイディア」。先ほど従業員が700名ほどいると言いましたが、700名の従業員の頭の中には、いろいろな知恵とか工夫とか改善のアイディアがいっぱいあります。そういったものをみんな出し合って、昨日より今日、今日より明日、日々いいものを作り上げるようなそういう改善をやっていきたいと思いますということでアイディアを掲げています。3つめ、これが「安全」です。今日の話の中に出てくる食の安全、食べて頂く皆様方の健康を害するようなそういう商品ではいけないわけです。安全なアイスクリームを作ろうということで、アイスクリームを作る原料、包装材料、工程でいろんな機械を使って作ります。そういう、原料から最後に製品に至るまで、しっかりした品質の管理をして、安全で、しかも、皆様においしいと感激して頂けるような、そういう商品を日夜作っております。今日は、勉強とともに、是非、おいしいアイスクリームを試食して頂いて、ゆっくり楽しんで過ごして頂きたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

(司会：小島)

ありがとうございました。

申し遅れましたが、私は本日司会を務めさせていただきます、関東信越厚生局の小島と申します。よろしくお願いいたします。ここで、本日お配りした資料の確認を致します。皆様一人一人のお手元には、一番上に本日のスケジュール、次に、座席表、その次が工場見学の班分け、「一日食品衛生監視員」というタイトルの資料、その次が、「安全な食品を作るための取り組み～宇宙食から始まったHACCPを学ぼう～」というタイトルの資料、「アイスクリームができるまで」というタイトルの資料、アイス工場見学ルート、最後にアンケート用紙、その後が参考パンフレットとして、家庭でできる食中毒予防の6つのポイント、その次が、どうしたら防げる？食中毒、その次が、加工食品に含まれるアレルギー表示の知識と見方、その後に、ようこそロッテへ、一家族毎にマグネット1つ、DVDが1つ、食中毒を防ぐという資料が保護者用とお子様用1部ずつ用意しておりますので、足りない方がいらっしゃいましたら教えていただけますでしょうか。

先ほど、こちらの会場に入る前にもお話しいたしましたが、この会の様子を記録に残したり、取材の方が写真撮影を致します。皆様のご迷惑にならないように致しますので、予めご承知いただければと思います。

それでは、早速ですが最初の講義を始めます。さいたま市保健所食品衛生課の土屋主任より、一日食品衛生監視員についてです。よろしくお願い致します。

(さいたま市保健所：土屋主任)

みなさんこんにちは。私はさいたま市保健所の食品衛生の担当をしております、土屋と言います。今日はよろしくお願い致します。お暑い中ご苦労様です。

- ・「一日食品衛生監視員について」について、添付資料に沿った内容の講義を行う。
- ・参加児童全員に一日食品衛生監視員の委嘱状を渡す。

(司会：小島)

ありがとうございました。それでは皆さん、後の工場見学では、食品衛生監視員の目で工場の中を見てきて下さいね。なお、今の説明の質問につきましては、本日最後の意見交換会の時間にまとめてお伺いしますので、よろしくお願いします。

続いては、関東信越厚生局食品衛生課の小野澤食品衛生専門職より、「安全な食品を作るための取り組み～宇宙食から始まったHACCPを学ぼう～」です。よろしくお願いします

(関東信越厚生局：小野澤食品衛生専門職)

みなさんこんにちは。みなさん立派な食品衛生監視員となりましたので、工場に行く前に、もうちょっと難しい食品衛生についてのお話をしたいと思います。

・「安全な食品を作るための取り組み～宇宙食から始まったHACCPを学ぼう～」について、添付資料に沿った内容の講義を行う。

(司会：小島)

どうもありがとうございました。

続いては、株式会社ロッテ浦和工場の田中生産技術課課長より「アイスクリームができるまで」です。よろしくお願いします。

(株式会社ロッテ浦和工場：田中生産技術課課長)

今、ご紹介頂きました、ロッテの田中様でございます。浦和工場は先ほど鶴見が言ったようにチョコレートとアイスクリームを作っています。チョコレートはコアラのマーチですとかパイの実とか、そういうものを作っています。今日はアイスクリーム工場で、雪見だいふく以外を作っております。皆さん方先ほど、さいたま市保健所からもらった衛生監視員の立場で見てもらいますけれど、工場内の設備がきれいな状態であるかだとか、従業員の服装がきれいであるかだとか、そういったところを見ていただきたいと思います。

「アイスクリームができるまで」について、添付資料に沿った内容の講義を行う。

(司会：小島)

ありがとうございました。これから白衣に着替えていただき、工場見学を行います。

3班に分かれて工場見学を実施。その後アイスクリームの試食。

(司会：小島)

それでは、皆様お疲れ様でした。工場の中を見てどうでしたか。みんな楽しんで工場見学できたと思います。工場の中で食べたできたてのアイスクリームはどうでしたか。おいしかったですか。そして今は、固められたアイスクリームも食べていただいています。アイスクリームを食べながら結構ですので、これから意見交換会を始めたいと思います。質疑応答を開始したいと思います。工場の方、さいたま市の方、厚生局に聞きたいことがありましたら、どんどん質問して下さい。質問がある方は手を挙げて下さい。

質問 1

バニラアイスなどの原料の牛乳はどこの牛乳を使っていますか。

施設担当者

日本も含めて、世界各地のものを使っています。オーストラリアとかニュージーランドとか。牛乳を粉にしたもの、皆様方が赤ちゃんの頃に飲んだ脱脂粉乳を乳製品という形で使っています。

質問 2

工場見学の時に、テープが窓に貼ってあったのを見かけましたが、どのような意味があるのですか。

施設担当者

窓に緑のテープを貼っています。虫は明るいところに入ってきますが、緑のシートを貼っておくことによって、虫が光をいやがるようになります。虫が来なくなります。それと、もう一つ気付いたかかもしれませんが、製品倉庫に入る時、黄色いのれんがされていたかと思いますが、これも虫の侵入を防ぐためのものです。いいところに気付きましたね。

質問 3

24時間動いていると、いつ掃除をしているのですか。

施設担当者

早番、遅番で製造して、夜勤で洗浄しています。夜勤でも製造が続いている場合は、次の日の夜勤に洗浄しています。今日、皆さんが見た機械ですけれども、洗浄というのはとても時間の掛かる作業でして、分解して、それを手洗いして、熱殺菌して、クロール殺菌して、また水洗いしています。約8時間かけて洗浄殺菌していますが、一番苦勞するのが洗浄殺菌の時間です。安心・安全な商品を作るには一番欠かせないことです。

お母さんたちが台所や冷蔵庫をきれいにするのと同じように、これを一番大事にしています。

質問 4

（包装時に）3本足のロボットが選り分けをしていたけれども、3本の足はどういう基準で（箱を）選んでいるのか。

施設担当者

特に基準はないです。1番目が選ばなかった残りを2番目が、2番目が取り残したものを3番目がとるようになっています。

（司会：小島）

他に何かご質問等ありますか。よろしいですか。皆さん、たくさんのご質問・ご意見ありがとうございました。

この意見交換会では、アイスクリーム工場を見ることによって、食品の安全を守るための様々な取り組みについて知って頂きました。今後も、食品の安全について興味を持ち続けて頂いて、いろいろな情報を取り入れて、日々の食生活に生かして頂ければと思います。私たちも引き続き、このように消費者の皆様と食品関係事業者の皆様との意見交換会を開催し、ご意見を反映させていただきたいと思います。それでは、少し時間が延びてしまいましたが、本日の日程はこれで終了とさせていただきます。皆さん本日はご参加いただきありがとうございました。